

## ＝全国＝

# 続・昭和50年国勢調査の結果について（概報）

—総理府統計局—

### I 全国の人口について

総人口は1億1,193万人。昭和50年国勢調査による10月1日の我が国の総人口は111,933,818人である。

大正9年の第1回国勢調査では5,596万人であり、この55年間にちょうど2倍となった。

世界各国と比べると、中国（8.2億人）、インド（5.9億人）、ソビエト（2.5億人）、アメリカ（2.1億人）、インドネシア（1.3億人）に次いで我が国は第6番目で、次のブラジル（1.0億人）までが1億を超えている。（国連：1974年年央推計）

また、我が国の人口密度は1平方キロメートル当たり297人で、我が国はバングラデシュ（525人）、韓国（340人）、オランダ（332人）、ベルギー（321人）に次いで世界でも人口密度の高い国の一つとなっている。

この5年間で727万人の増加、人口増加率は6.9%。前回の昭和45年国勢調査による総人口は1億467万人であったから、この5年間で727万人、6.9%増加した。

この増加率は、戦後では、昭和25年～30年の7.1%に次ぐもので、昭和30年～35年の4.7%、35年～40年の5.2%、40年～45年の5.5%を上回っている。この要因の一つとしては、昭和22年～24年のいわゆるベビーブーム期に出生した女子が、この5年間に母親となり、第2のベビーブームを招いたことが挙げられる。

### II 都道府県の人口について

埼玉県と千葉県が新しく人口400万台、奈良県と沖縄県が人口100万台となる。次いで、(2)大阪府828万人、(3)神奈川県640万人、(4)愛知県592万人、(5)北海道534万人、(6)兵庫県499万人、(7)埼玉県482万人、(8)福岡県429万人、(9)千葉県415万人、(10)静岡県331万人の順となっております。5年前と比べると、埼玉県が8位から7位に、福岡

県が7位から8位へと順位が入れ替った。その他の県では、奈良県が38位から34位に、群馬県が22位から20位にそれぞれ繰り上がったのが目立つ。全国で最も人口が小さいのは鳥取県の58万人である。

なお、奈良県（108万人）及び沖縄県（104万人）は、新しく人口100万台となった。このほか、大阪府は800万台に、埼玉県及び千葉県が400万台に、長野県が200万台となった。

人口の減少した県は僅かに5県と激減。各都道府県の人口増減率の推移をみると、人口減少県は昭和35年には26県、40年には25県、45年には20県と漸減してきたが、今回、人口減少となったのは、秋田、山形、島根、佐賀、鹿児島のみで5県に激減し、また、その減少率は最も高い秋田県でも0.7%と極めて小さく、他の4県も前回の減少率を大きく下回っている。

また、今回、減少から増加に転じたのは、東北では岩手、福島、中部では新潟、福井、山梨、長野、中国では鳥取、山口、四国では徳島、愛媛、高知、九州では長崎、熊本、大分、宮崎の15県である。

大都市圏はドーナツ現象の広域化傾向。前回に引き続き今回も増加している27都道府県のうち、増加率が前回を上回ったのは、北海道、青森、宮城、茨城、栃木、群馬、富山、石川、岐阜、静岡、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、岡山、広島、香川、福岡、沖縄の20道府県で、地方中核県や大都市圏周辺県が多い。

これに対し、大都市圏の中心である東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫の5都府県は、増加率の低下が続いており、埼玉県及び千葉の2県も昭和40年～45年の増加率をピークとして、今回はそれを下回った。

東京圏（東京、神奈川、埼玉、千葉の4都県）に隣接する茨城、栃木、群馬、大阪圏（大阪、京都、兵庫、奈良の4府県）に隣接する滋賀、和歌山の各県で、今回、増加率が上昇したことは、大都市圏におけるドーナツ現象の広域化傾向を示している。

増加率が最も高いのは、 今回の人口増加率をみると前回と同じく埼玉県。 最高は埼玉県の24.7%増で、以下、千葉県の23.2%、神奈川県 16.9%、奈良県 15.8%、滋賀県10.8%、沖縄県10.3%、愛知県10.0%と続いている。なかでも、沖縄県は前回の増加率1.2%に比べ9.1ポイント、滋賀県は前回の4.3%に比べ6.5ポイント、それぞれ大きく上回ったのが目立っている。

**3大都市圏では496万人増** 東京圏の人口は、この5加し、**5,323万人**となった。 間に292万人(12.1%)したが、人口増加率は鈍化。 増加して2,704万人、大阪圏が130万人(8.4%)増加して1,677万人、中京圏(愛知、岐阜、三重の3県)が73万人(8.4%)増加して942万人となり、この3大都市圏を合計すると496万人(10.3%)増加して5,323万人で、全国人口の47.6%を占めている。

このように、3大都市圏の人口は依然として増加を示しているが、これを前回(昭和40年~45年)と比べると、3大都市圏全体では、前回の534万人の増加より38万人下回り、また、人口増加率でも前回の12.4%増から2.1ポイント低下するなど大都市圏への人口集積は鈍化の傾向にある。

なお、3大都市圏別の人口増加率では、東京圏が前回の14.7%増から今回の12.1%増に、また大阪圏が11.3%増から8.4%増にそれぞれ低下しているが、中京圏の今回増加率は、前回の8.4%と同じである。

### Ⅲ 市町村の人口について

川崎、福岡の両市が人 大都市の人口では、東京都区口100万を超え、千葉 部(864万人)を第1位として、市、岡山市が新しく50 以下(2)大阪市(278万人)、(3)横万以上の都市となる。 浜市(262万人)、(4)名古屋市(208万人)、(5)京都市(146万人)、(6)神戸市(136万人)、(7)札幌市(124万人)、(8)北九州市(106万人)、(9)川崎市(102万人)、(10)福岡市(100万人)の順で、今回新しく川崎、福岡の2市が100万都市に加わり、政令による指定都市は、いずれも100万以上となった。

このほか、人口50万以上の市は広島市(85万人)、堺市(75万人)、千葉市(66万人)台、仙市(62万人)、弔崎市(55万人)、東大阪市(52万人)、岡山市(51万人)であり、新しく千葉、岡山の2市が50万以上の市に

なった。

人口の減少が続く東京 大都市の中で東京都区部及び都区部と大阪市。 大阪府は、いずれも人口が20万減少し、前回(昭和40年~45年)の東京都区部の5万2千人減、大阪市の17万6千人減に対し、今回の減少は前回を更に上回った。

このほか、人口50万以上の都市では、尼崎市の8千人減を除き、いずれもこの5年間で人口増加をみており、特に増加率が高いのは、千葉市の36.7%、堺市の26.3%、札幌市の22.8%である。しかし、前回の増加率と比べると岡山市、広島市、北九州市、福岡市以外はいずれも前回を下回った。

人口増加市町村数は**1,425**、 この5年間で人口が増加前回よりも大幅に増加。人 した市町村の数は1,425(全口10%以上減少は**443市町** 市町村の43.8%)で、前回村で前回を大きく下回る。 の948市町村(28.5%)より大幅に増加している。人口増加の市町村のうち、人口増加率が10%未満の市町村は914市町村(28.1%)、10~20%未満は256市町村(7.9%)、20%以上は255市町村(7.8%)であり、これを前回の増加率が10%未満の560市町村(16.8%)、10~20%未満の159市町村(4.8%)、20%以上の229市町村(6.9%)と比べてみると、増加率20%未満の市町村で大きく増加している。

一方、人口が減少した市町村数は1,832(56.2%)で、前回の2,383市町村(71.5%)より減少した。

特に、過疎地域の指標となる人口10%以上減少の市町村数は443(13.6%)で前回の937(28.1%)を大きく下回っている。

中都市の人口増加率 この5年間の人口増減を市町村が高く、町村では人 の人口階級別にみると、人口5万人口減少が続く。 以上の市町では、383市町のうち人口増加は355市町(92.7%)とほとんどの市町が人口増加となっており、人口2万~5万未満の市町でも、515市町のうち355市町(68.9%)で人口が増加している。これに対し、人口2万未満の階級では、逆に人口減少の市町村数を上回っており、特に人口1万未満の町村では1,531町村のうち1,215町村(79.4%)が人口減少となっており、過疎化の傾向を示している。

更に、人口階級別の人口増減率をみると、人口30万~50万未満で13.6%増、人口10万~30万未満で12.7%増、

人口5万～10万未満で12.5%増と中都市で高い人口増加を示しており、その他では、人口50万以上の大都市で4.5%増、人口2万～5万未満で6.5%増、人口1万～2万未満で1.5%増と人口増加を示しているが、いずれも全国平均の人口増加率6.9%を下回っている。また、人口1万未満の町村では依然として人口減少が続いており、4.8%の人口減少率を示している。

**人口減少県でも県庁所** 地方中核都市の代表として都  
**在市は人口が増加。** 道府県の県庁所在市について、  
人口増加に転じたほと その人口増減をみると、東京都  
んどの県では、増加人 区部と大阪市は依然として減少  
口の50%以上を県庁所 しているが、その他の県庁所在  
在市の増加で占める。 市はすべて人口が増加してい  
る。

特に、鹿児島県では県全体で5,250人減少しているのに対し、鹿児島市では53,478人増加しており、その他秋田県、山形県、島根県、佐賀県でも県の人口が減少しているにもかかわらず、県庁所在市の人口は増加している。

また、県人口がこの5年間で増加に転じた県(15県)のうち、県庁所在市の人口増加が県全体の増加人口の50%以上を占めているのは13県と圧倒的に多く、人口増加については、県庁所在市への人口の吸収力が比較的高いことを示している。

**人口増加率は大都市周辺** 全国の市区町村で人口増加  
の市町で顕著。人口減少 率が最も高いのは、奈良県上  
数の上位は、すべて大都 牧町の156.3%、次いで北海  
市の区部が占める。 道広島町の128.4%、埼玉県鷲  
宮町126.1%、京都府八幡町118.2%、東京都多摩市113.4  
%、宮城県泉市111.2%、神奈川県綾瀬町101.8%と続  
き、いずれもこの5年間に2倍を超える人口の増加がみら  
れる。なお、これらの市町は、すべて大都市周辺のペ  
ッドタウンである。

一方、この5年間に人口増加数が最も大きかったのは、千葉市の17万7千人で、次の堺市の15万6千人、広島市の10万6千人の3市では、いずれも人口が10万以上増加している。

次に、人口減少率の最も高いのは、長崎県伊王島町の70.3%、次いで愛媛県別子山村の58.0%、長崎県高島町の52.7%、高知県大川村の50.9%の順となっている。これらの人口減少率が高い要因は、高知県大川村がダム建設による立ち退き、その他の町村はいずれも鉱山の閉鎖

によるものである。

この5年間の人口減少数をみると、人口減少の大きいのは、大都市の区で、東京都区部では、大田区の4万4千人減を筆頭に、豊島区、台東区、品川区、墨田区、荒川区、新宿区、葛飾区の8区、大阪市では西成区、生野区、神戸市では長田区、兵庫区、川崎市では川崎区でいずれも2万人以上減少している。

なお、全国の市町村のうち、人口が最も小さいのは、東京都御蔵島村の176人、次いで東京都青ヶ島村(205人)であるが、離島を除けば愛知県富山村の264人が最小である。

#### Ⅳ 世帯数について

**世帯の増加率14.4** 全国の総世帯数は32,143,748世帯  
%。人口増加率を である。5年前の2,809万世帯と比べ  
大きく上回る。 ると405万世帯、14.4%の増加で、人  
口の増加率6.9%と比べて世帯の増加率は著しく高い。

世帯の増加率は、昭和30年～35年が15.1%、35年～40年が16.4%、40年～45年が15.7%で、前々回をピークに漸減し、今回も前回の増加率より1.3ポイント下回った。

**1世帯当たり人員** 1世帯当たり世帯人員は、平均  
は**3.48人**。 3.48人で、前回の3.73人と比べると  
顕著な減少となった。平均世帯人員は、大正9年以来、昭和30年頃までは5人前後であったが、昭和35年には、4,52人と減少を示しはじめ、昭和40年に4.08人、昭和45年に3.73人、今回は3.48人と、核家族化及び単独世帯の増加に伴う世帯の細分化が依然として進んでいることを示している。

**世帯規模は、すべて** この5年間に、世帯数はすべての  
の都道府県で縮小。 の都道府県で増加し、その増加率  
東京都は**2.92人**で初 はいずれも人口の増加率を上回っ  
の2人台となる。 たので、1世帯当たり平均世帯人  
員は、各都道府県とも小さくなり、世帯の細分化は、全  
国的に進行しているといえる。

平均世帯人員の小さいのは、前回3.18人であった東京都が、2.92人と初めて2人台を記録したのに次いで、鹿児島県(3.13人)、高知県(3.14人)、大阪府(3.28人)、京都府(3.28人)、北海道(3.29人)など人口移動の影響を大きく受けた都道府県である。

これに対して、平均世帯人員が4人を超えているのは山形県(4.02人)のみで、以下、沖縄県(3.996人)、富山県(3.97人)、茨城県(3.97人)の順となっている。

表1 主要結果による都道府県の順位(昭和50年)

順位	世帯数		人口		人口増加率		性比 (女100人につき男)		1世帯当たり 人	
	県名	県名	(△は減少)	県名	県名	県名	県名	県名	県名	
全国	32,143,748	—	111,933,818	—	6.9	—	96.9	—	3.48	—
1	3,990,164	東 京	11,669,167	東 京	24.7	埼 玉	105.7	神 奈 川	4.02	山 形
2	2,527,203	東 京	8,278,844	東 京	23.2	埼 玉	102.7	神 奈 川	4.00	山 形
3	1,907,164	神 奈 川	6,397,619	神 奈 川	16.9	神 奈 川	102.2	神 奈 川	3.97	山 形
4	1,623,398	神 奈 川	5,923,499	神 奈 川	15.8	神 奈 川	102.0	神 奈 川	<b>3.97</b>	山 形
5	1,618,811	北 海 道	5,338,043	北 海 道	10.8	滋 賀	100.3	神 奈 川	3.93	山 形
6	1,440,936	愛 知	4,991,910	愛 知	10.3	沖 縄	99.7	神 奈 川	3.93	山 形
7	1,323,690	兵 庫	4,821,349	兵 庫	10.0	沖 縄	<b>98.1</b>	神 奈 川	3.93	山 形
8	1,261,730	福 岡	4,292,997	福 岡	<b>9.3</b>	愛 知	96.9	神 奈 川	3.92	山 形
9	1,152,407	福 岡	4,149,132	福 岡	8.6	愛 知	96.7	神 奈 川	3.92	山 形
10	868,356	静 岡	3,308,796	静 岡	8.6	大 阪	96.6	神 奈 川	3.89	山 形
11	792,782	京 都	2,646,353	京 都	7.8	京 都	96.5	神 奈 川	3.86	山 形
12	739,184	京 都	2,424,830	京 都	7.5	京 都	96.5	神 奈 川	3.84	山 形
13	608,941	新 潟	2,391,963	新 潟	7.5	栃 木	96.5	神 奈 川	3.82	山 形
14	<b>590,459</b>	茨 城	<b>2,342,173</b>	茨 城	7.1	静 岡	96.1	神 奈 川	3.81	山 形
15	550,502	鹿 児 島	2,017,544	鹿 児 島	6.9	兵 庫	96.0	神 奈 川	3.81	山 形
16	542,528	長 野	1,970,675	長 野	6.7	石 川	95.8	神 奈 川	3.79	山 形
17	526,963	宮 城	1,955,274	宮 城	6.6	福 岡	95.6	神 奈 川	3.77	山 形
18	511,259	岡 崎	1,867,970	岡 崎	6.3	福 岡	94.5	神 奈 川	3.74	山 形
19	502,829	福 岡	1,814,300	福 岡	6.2	岐 阜	94.4	神 奈 川	3.72	山 形
20	483,731	岐 阜	1,756,489	岐 阜	5.9	群 馬	94.3	神 奈 川	3.72	山 形
21	473,394	熊 本	1,723,900	鹿 児 島	5.9	香 川	94.0	神 奈 川	3.71	山 形
22	461,837	熊 本	1,715,011	熊 本	5.4	香 川	93.9	神 奈 川	3.71	山 形
23	459,933	群 馬	1,698,002	栃 木	4.0	富 山	93.9	神 奈 川	3.69	山 形
24	435,683	崎 玉	1,625,992	重 慶	3.9	福 岡	93.8	神 奈 川	3.66	山 形
25	434,471	愛 知	1,571,919	三 重	3.3	愛 知	93.7	神 奈 川	3.64	山 形
26	434,463	三 重	1,555,233	山 口	3.2	宮 崎	93.4	神 奈 川	3.62	山 形
27	433,460	青 森	1,468,571	青 森	3.1	長 野	93.3	神 奈 川	3.62	山 形
28	387,667	栃 木	1,465,205	愛 知	3.0	大 阪	93.1	神 奈 川	3.61	山 形
29	363,737	岩 手	1,385,566	北 海 道	3.0	北 海 道	93.1	神 奈 川	3.60	山 形
30	344,129	大 分	1,232,493	秋 田	2.9	山 口	93.1	神 奈 川	3.60	山 形
31	321,056	秋 田	1,220,308	山 形	2.9	青 森	92.9	神 奈 川	3.56	山 形
32	318,477	宮 城	1,190,307	山 形	2.8	和 歌 山	92.7	神 奈 川	3.55	山 形
33	308,387	和 歌 山	1,085,057	大 宮	2.8	山 梨	92.6	神 奈 川	3.48	山 形
34	303,779	山 形	1,077,301	奈 和	2.7	高 東	92.3	神 奈 川	3.46	山 形
35	290,222	山 形	1,072,078	和 歌 山	2.3	東 京	92.0	神 奈 川	3.46	山 形
36	285,808	奈 良	1,070,793	富 山	2.2	鳥 取	91.7	神 奈 川	3.41	山 形
37	270,161	香 川	1,069,871	石 川	1.8	德 島	91.5	神 奈 川	3.40	山 形
38	269,392	富 山	1,042,502	沖 縄	1.3	新 潟	91.3	神 奈 川	3.37	山 形
39	260,912	富 山	985,515	滋 賀	1.3	新 潟	91.3	神 奈 川	3.37	山 形
40	257,497	高 知	961,285	香 川	1.0	岩 手	91.1	神 奈 川	3.35	山 形
41	250,996	滋 賀	837,680	佐 賀	0.9	熊 本	90.9	神 奈 川	3.34	山 形
42	223,430	德 島	803,367	高 知	0.1	長 崎	90.4	神 奈 川	3.29	山 形
43	213,133	佐 賀	805,090	德 島	△ 0.1	佐 賀	90.2	神 奈 川	3.28	山 形
44	212,438	山 梨	783,054	山 梨	△ 0.3	鹿 児 島	89.5	神 奈 川	3.28	山 形
45	210,563	山 梨	773,597	山 梨	△ 0.4	山 梨	89.4	神 奈 川	3.14	山 形
46	198,800	福 井	768,876	福 島	△ 0.6	山 梨	89.1	神 奈 川	3.13	山 形
47	156,886	鳥 取	581,318	鳥 取	△ 0.7	秋 田	87.4	神 奈 川	2.92	山 形